

充実度 120%の実習

今年5月12日から柏崎総合医療センターで総合診療学の臨床実習をさせていただきました。柏崎刈羽原子力発電所の見学をはじめ、他ではなかなかできないような貴重な体験をすることができました。先生方はお忙しい中、親身になって教えてくださり、とても充実した毎日を過ごせました。

外来実習では問診や診察を体験できました。特に印象に残っているのは薬剤性アレルギーで救急搬送されてきた患者さんの一例です。この患者さんは呼吸苦を訴えて搬送されてきましたが、初めはその原因がよくわかりませんでした。しかし、一緒についていた上級医の先生は患者さんの体が全体的に赤くなっていることに注目し、アレルギー反応による呼吸苦を疑って患者さんに内服薬について尋ねると、数時間前に抗菌薬を内服していたことが明らかとなりました。その後ステロイドの点滴を開始したところ、患者さんの状態はみるみる改善していきました。問診と身体所見から鑑別診断を挙げ、再度問診によって診断を確定させ、治療に結び付けるという一連の流れが非常に美しく、今回の総合診療学実習の到達目標を目の当たりにした気持ちになりました。私もいつかあの先生のようになりたいと心から思いました。

充実した1か月を経験させてくださった先生方に感謝を申し上げます。